

第 23 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA オンラインアジア大会(動画審査) 総評 コンチェルト I 部門

●審査員 A

- ・ほとんどの皆さんはピアノ演奏を楽しんでいらっしゃるように思いました。その気持ちを忘れないでください。
- ・先生方のご指導のもと一生懸命に練習した後は、自分の心のままに音楽を表現してください。
- ・ピアノを弾く姿勢にも注意を払いましょう。音の質にも関わるからです。体や腕が過剰に動くと不自然になり、音楽に集中できなくなります。
- ・楽譜に書かれているすべての記号をよく読み、尊重しましょう。
- ・鍵盤のタッチを変え、音、アーティキュレーション、強弱を変化させながら、より多彩でコントラストのある表現を感じ生み出しましょう。
- ・ペダルも大切な表現手段だと考えましょう。
- ・ソリストとオーケストラの対話に注意を向けましょう。ほとんどの場合、あなた（＝ピアニスト）がリーダーとして、自分の感情を主張してよいでしょう。
- ・これからの音楽人生が充実されることを祈っております！

●審査員 B

音楽に対する皆さんの献身的な姿勢には、本当に頭が下がります。皆さんの人生の中で音楽がとても重要な部分を占めていることが伝わってきます。

日々の練習の中で、何が一番大切なのか、悩むこともあるでしょう。ピアノに向かう時間を最重要視することもあれば、いろいろな技術的な練習をすれば、早く上達するのではないかと考えることもあります。また、競争することが目標だと思う日もあります。これらはどれも正しく、また私たちの上達の助けとなるでしょう。しかし「自分は音楽が大好きだから音楽を演奏しているんだ！」という気持ちに勝るものはありません。これから先、ピアノの前に座って音楽を奏でるとき音楽の持つ癒しの力や美しさを感じてほしいと思います。

●審査員 C

アジア大会に送られた音源のクオリティの高さに、心から拍手を送りたいと思います。ピアノ協奏曲を演奏することは、セカンドピアノとの共演であれ、オーケストラとの共演であれ、すべてのピアニストにとって常に特別な経験です。私たちはソリストですが、指揮者や伴奏者との協力が非常に重要であることを忘れてはいけません。ソロ演奏とは異なり、時間の扱い方を少し変えなければならないのです（特にフレーズの終わりです）ジェスチャーを用いてあらかじめフレーズの特質を伝える指揮者に心を委ねましょう。難しいオーケストラのパートをプロフェッショナルに演奏して下さった伴奏者の皆さんを高く評価いたします。

●審査員 D

それぞれ躍動感のある演奏。幼いにもかかわらず暗譜でミスなく弾いている。指導者の熱意も伝わってくる。

●審査員 E

- ・全体には、2台のピアノのバランスをよく考えて演奏している。
- ・ソロはテクニックもしっかりしていて、フレーズの流れをつかんでよく歌っている、表情豊かな演奏があった。

●審査員 F

コンチェルト部門に参加された皆様は、全体的に演奏経験がしっかりされた方が多かったと思います。オーケストラパートを聴き合わせるという事の重要なアンサンブル体験が出来ました。オーケストラパートを担当されました方の御協力の賜物と推察します。指揮者的役割も担い、テンポ感の安定にも繋がりました。表現への思いもより深まりました。なかなか体験しにくいコンチェルト部門に勇気を持って参加された事は今後の演奏技術の向上に役立つことでしょう。皆様の今後の成長が楽しみです。